

新石山寺保育園では、隣接する石山寺の奥にある森がフィールドです。ここは人の出入りが少なく、苔の生えているところが特徴です。

プログラムを作る前に下見に行きました。



ルーペで苔を見たり、自然の中でゲームをしたり、支援者の五感を呼び覚まします。あそぶことで、自然物がそれぞれ特徴のある違ったものに見えてきます。何でこんなに実をつけるのだろう？何でこんなにおいをしているのだろう？何でひつつくのだろう？何でこの場所に多いのだろう？など問い考えてみます。



下見でたくさんのヒントをもらい、あそんだ後、班に分かれてプログラムを作ります。一番悩む時間です。

「み~つけた!」のプログラム

「つるつる」「ちくちく」「ざらざら」「ながいもの」「におい」と書かれたカードの上に、同じ感触、形などの自然物を探しておきます。

すごいと思ったことの発表



カニもツルツルやな



長いけれど、ザラザラしてる



さかなつりの棒のような長い棒です。

自分の体の中でツルツルやザラザラなどを探し



指と指の間はツルツルしてる

ちっちゃいオレンジのキノコ、ツルツルしてるよ



葉っぱや枝などと同じように、自分の体の中でもツルツルしたところやザラザラしたところがありました。

不思議発見



ナナフシ発見
「枝とそっくりだね。
なんでかな?」「枝と思
わせて、食べられない
ように隠れているんだ
ね。生きるために工夫
しているんだね」



やどり木発見
「なんで違う葉っぱが
あるんだろう?」「鳥が
種を食べて、うんちと
いっしょに種を落とし
ていったんだね」
「じゃー、うんちの力
やー」

「見て 触って 探して あそぼう!!」のプログラム

写真と同じ場所を探し、それぞれの場所で木や苔を触ったり、特徴を話し合ったりします。その後 木の皮、苔、葉っぱを一つずつ拾います。

さあ!この場所
がわかるかな?



写真と
同じ場
所やー

ザラザラ
している



この木とこの
木は違うなー



苔には、水
がっぱ
いしみこ
んでいて、
木に水を
あげてい
るんやて



ふかふ
かや!

モコモコ
してる!

拾った木の皮、苔、葉っ
ぱで動物を作りました



グループの動物を作ることになっていましたが、そこ
で見つけたものを作りました。

園に帰り、それぞれのグループの動物を作りました。

参加された先生の

声

自然の中で5歳児の反応が大変おもしろいと思った。大人とこどもの感覚の違いやこども一人ひとりのとらえ方や感じ方が違い、固定概念がいい意味でひっくり返された。

昨年度もこの研修を受け、継続して行くことが大事だと思い、自然の中でたくさんを感じ、それを大切にしてきた。今回もまた違った自然の中で、新たな発見があり、感動した。

今までしてきた保育の中では、このプログラムをして何を子どもたちに伝えたいのかまで考えていなかったことに気づかされた。

Q & A

(解答:講師 島川武治(しまっち))

Q:自然の中で活動するときは、してはいけないことを始めに話した方がよいのでしょうか?それとも経験してから話した方がよいのでしょうか?また生えているものを採ってしまったときはすぐに注意した方がよいのでしょうか?

A:両方話した方がよいでしょう。最初に話し、確認の意味で後でも話し、守れたときはほめましょう。また一度だけではなく、外へ出るたびに「お約束何やった?」と投げかけましょう。また命の危険にさらされそうなときは「ダメッ!」と止めさせますが、植物をむやみに採るなどはタイムリーなときに子どもたちに問うてみるのも良いでしょう。